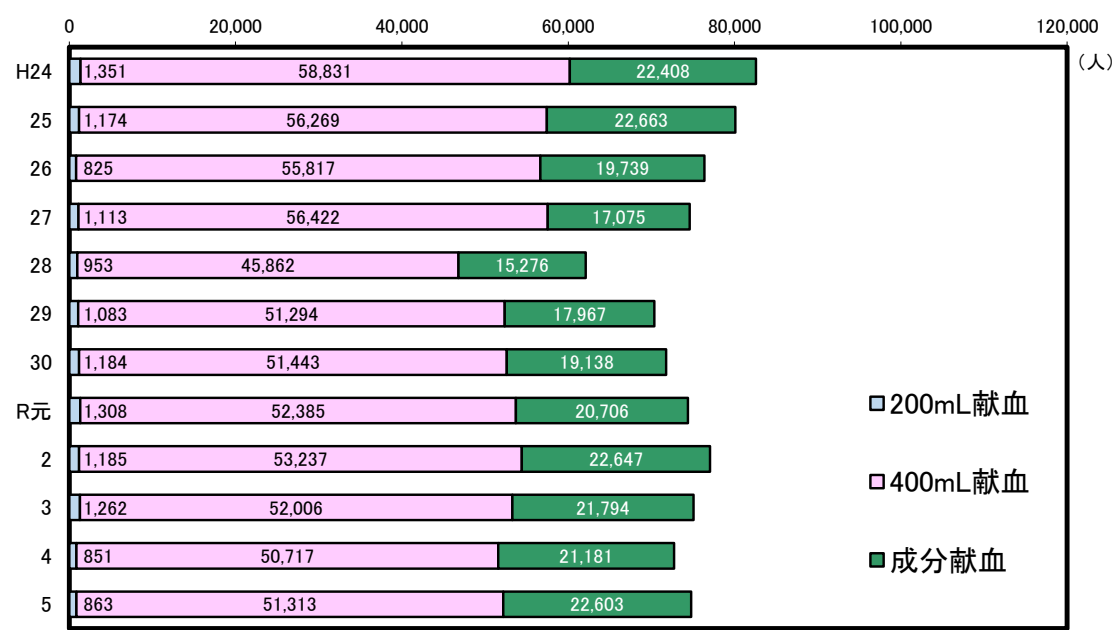


熊本県の種類別献血者数の推移



解 説

【概要】

令和5年度の県民の献血状況は、献血者数が74,779人で、前年度と比較すると2,030人増加した。献血種類別では、200mL献血者が863人、400mL献血者が51,313人、成分献血者が22,603人となっており、需要の多い400mL献血者は前年度の50,717人から596人増加した。

また、献血率は7.0%であり、全国平均6.2%に比べて高かった。

令和5年度の献血量は、200mL献血量が172.6L、400mL献血量が20,525.2L、成分献血量が13,433.57Lとなった。

○献血者

日本赤十字社が実施した献血事業に対し、無償で血液の提供を行った者のこと。なお、献血事業は現在全て日本赤十字社によって実施されており、血液センター、採血出張所及び移動採血車によって行われている。

○献血率

「住民基本台帳人口要覧」及び「国勢調査」に基づく各年の献血可能年齢（16歳～69歳）の人口に占める献血者数の割合。

○千人当りの献血量

献血量÷（総務省統計局「国勢調査」に基づく令和4年10月1日現在人口÷1,000）

○高校生の献血率

高校生献血者数÷献血者数×100

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
「血液事業年度報」 日本赤十字社	令和5年度	毎年